「AM」紙2月15日付版Vivir面

１　ベアトリス・ヤマモト女史について話すことは、ある伝説について言及することである。同女史は、教師、州政府職員、議員、企業家、チャレンジする人、相談役、母、また日本人コミュニティのみならず多くの外国人コミュニティにとっての友人であり、今では、尊敬と愛情とともに思い出される。

２　特に、在レオン日本国総領事館及び日本人コミュニティは、我々の友人、ベティ・ヤマモトさんの逝去を大変深く悲しんでいる。同女史は、現在メキシコと日本、そしてグアナファト州と広島の関係を支える極めて重要な関係の証人であり、キーパーソンであった。

３　日本人及びメキシコ人の血筋に誇りを持ち、日系コミュニティにおいて、また同女史を取り囲むメキシコにおいて努力の模範であった。同女史が生涯取り組んだ数々の役職であるのと同じく、同女史の本質であったように、自ずと、バヒオの工業開発のためにとても重要な時期に日本との関係を深めた。

４　我々にとって、同女史が、両国間の友好関係強化の役割を担う墨日友好議員連盟会長に選出されたことは、嬉しい思い出である。ベアトリス・ヤマモト議員は、２０１２～１５年のグアナファト州出身の連邦下院議員任期中、同会長に就任した。当時の目賀田周一郎駐メキシコ日本国大使は、同女史と出会い、太平洋の両岸の絆を深める難しいミッションには最もふさわしい方であるとして会長職就任を要望した。

５　例えば、２０１４年には多くのプロジェクトや要人往来が実現し、メキシコ、グアナファト、そして日本、広島にとって重要な出来事があった。まず、グアナファト州と広島県による友好提携が結ばれた。それはミゲル・マルケス元グアナファト前州知事の目的の一つであり、同知事は、ベアトリス・ヤマモト議員の両国の異なる文化を橋渡しする能力や経験に頼っていた。

６　同年には、マツダ及びホンダ工場が開所した。両工場の開所式は長年の努力及び計画の最大の成果であり、同女史は特別招待者として名を連ねていただけではなく、日本の企業幹部と、日本企業幹部の大部分が知らない地域で日本企業との関係を築きたいと考えていた社会とを結びつけた点で、ヤマモト議員の存在を欠かすことはできない。

７　また２０１４年は、墨日友好４００周年を迎え、文化交流が活発であった。日本は、グアナファトでの第４２回セルバンティーノ国際芸術祭に招待され、秋篠宮同妃両殿下も参加された。

８　その直後の１１月、ヤマモト議員は墨日友好議連会長として訪日し、ベアトリスのお人柄で、中曽根弘文元外相及び当時の日墨友好議連会長と意気投合し、その後、友情を育まれた。２０１６年には、メキシコをよくご存じの中曽根議員は、当時レオン市議会議員であった同女史の自宅での朝食会への招待を喜んで受け入れた。同朝食会には、友好議連の他のメンバーやヘクトル・ロペス　レオン市長も同席した。

９　我々は親近感を込めて「ベティさん」と呼ぶが、同女史が訪日した際、祖父母が生まれた熊本県を訪問した。同女史のルーツとの魂の再会であったと言えるのではないか。

１０　日本とメキシコの新たな関係を築くための、これらすべての経験、仕事、努力、能力の蓄積は、東京の日本政府にとって貴重なものであった。２０１８年９月、河野外務大臣はヤマモト議員に対し外務大臣表彰をし、２０１９年には天皇陛下による旭日小綬章が、安倍総理を通じて受章された。この叙勲は、国際関係、日本文化促進、社会福祉や環境保全などの分野で顕著な功績が認められた人に与えられるものである。

１１　しかし、ベアトリス・ヤマモト女史の遺産は、儀典、公務、自身の取り組みを越えて広がっている。レオン市議会議員として、そしてその後、ディエゴ・シヌエ・ロドリゲス・バジェホ　グアナファト州知事により設立された州移民局国際コミュニティ総合調整官として勤務する間、同女史の取り組みは、グアナファト州の２８０社で勤務する２６００人の日本人の生活に平和と福祉をもたらした。

１２　これらの日本企業、そして日本人従業員は、日々、メキシコ人従業員と肩を並べて働いているが、皆、ベティさんへの感謝の言葉を有している。またヤマモト女史は、日本企業に勤務する両親に帯同してグアナファトにやってきた多くの日本人の子供たちや、日系メキシコ人への教育にも影響を及ぼした。多くの子供たちは、名誉理事として参加したイラプアトのグアナファト日本人学校の運動会で同女史が踊り、そして陽気なメキシコ人として楽しい時を過ごしたことを覚えている。同女史自身は機会がなかったと言っていたが、メキシコで、スペイン語、日本語、英語の三カ国語を教える学校設立のために働くことを夢見ていた。

１３　我々日本人コミュニティは、愛するベティへの、深く、そして消えることのない感謝の気持ちを失わない。同女史の突然の逝去は悲しく、人生の教訓を与える。間違いを恐れず言うが、同女史と交流があり、友人であり、ともに働く機会があった我々一人一人の心の中には、埋めることができない穴がぽっかり残った。我々は夫君であるファン氏、息子さんのファン・カルロス氏、ホルヘ氏、フリオ・セサール氏に大変感謝している。家族の無条件の理解及び支援なしには、これほど多くのイベントや重要な機会に、ベティさんに出席頂くことは不可能であっただろう。

１４　同女史の名前は、我々の心に永遠に生き続ける。単に数々の職業の業績及び両国の文化の間の架け橋としての素晴らしい能力としてのみならず、その素晴らしい人間性、陽気さ、ユーモアのセンス、そして同女史のDNAに有するグアナファト州、そして生誕のコアウイラ州と日本とが混ざり合った、興味深い魅力が生き続ける。

１５　人生のすべての日に、印象深く、楽しい人々と時間を過ごす幸運に巡り会うことはできないが、ベアトリス・エウヘニア・ヤマモト・カサレスは、そういった人の一人あった。

本当にありがとう、ベティさん！

在レオン総領事　板垣克巳